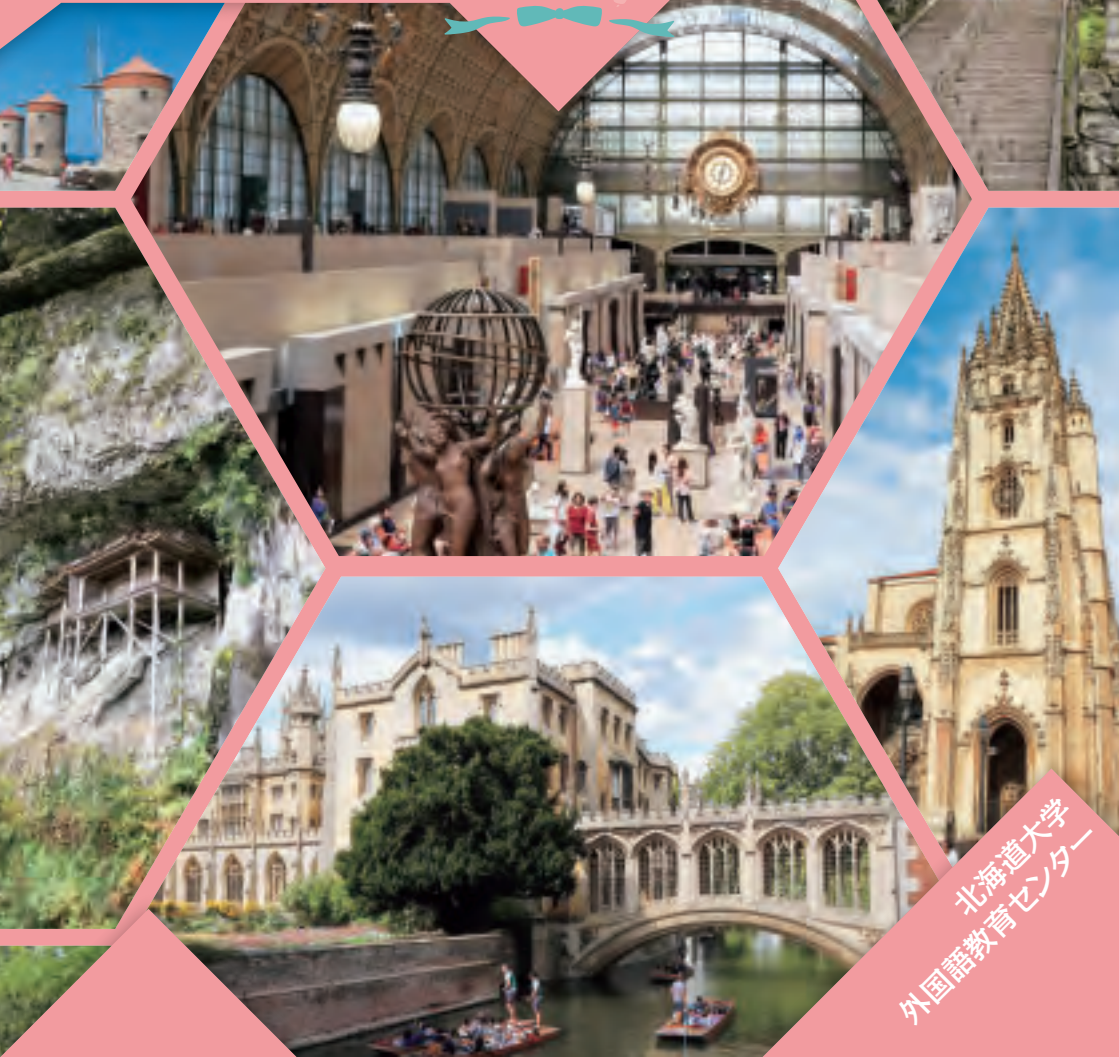




1 年生 2 学期

# 2025 年 お助けガイド 2



北海道大学  
外国語教育センター

## ❖ 2年次以降の外国語学習について

専門課程に進んだ後も、外国語の学習は続きます。各学部で英語やその他の外国語を用いて研究や発表を行う機会があります。また、2年次以降も外国語演習を履修して、研究や就職など自分の進路に必要な語学のスキルを磨くことができます。さらに、留学をして、その言語が話されている地域で学ぶという選択肢もあります。2年次以降も外国語の学習を続けていくために、どのようなリソースがあるのかを確認しておきましょう。

## ❖ 外国語演習について

全学教育の外国語演習は、学部2年～4年次、さらに大学院生でも履修することができます。演習の授業を積極的に利用して、語学を続けてみませんか。

外国語演習としての履修を希望する学部生は、第一学期4月初旬、第二学期9月末に抽選申し込みを行なってください。履修手続きの詳細は、高等教育推進機構⑧番窓口（全学教育・総合教育担当）にて知ることことができます。

### 2024 年度開講の演習科目の一例

#### 英語演習

- 中級：英語のアウトプットを鍛える
- 中級：TED Talks で学ぶ総合英語
- 中級：「英語多読」をやってみよう
- 中級：Language & Culture Through Film
- 上級：異文化間コミュニケーションの実践
- 上級：Creative Writing Workshop: Writing Short Stories

#### 初習外国語演習

- C2：K-POP で覚える韓国語
- C2：中国語ライティング
- C2：DELE（スペイン語能力試験）のためのスペイン語
- C2：総合Ⅱ（ロシア語）
- S2：フランスの余暇文化（ヴァカンス、スポーツ、食など）
- S2：歌と詩で読むドイツ語

## ❖ 留学について

外国語を学び、実際にそれが使用されている国や地域で生活してみることは唯一無二の経験です。北海道大学では、様々な留学プログラムが提供されています。ほんの少しでも興味を持ったなら、積極的に情報を収集してみましょう！

### ▶ 留学のための情報収集、第一歩！

まずは、北海道大学学務部国際交流課が発行する『北大生のための留学ガイド』にアクセスしよう！（右記、QRコード）



学生交流ステーションには、留学のための情報やパンフレットがあります。興味のある人は、行ってみましょう。

北海道大学の留学プログラムには、次のようなものがあります。

- 大学間交流協定校への交換留学：長期間海外で生活し、現地の大学でしっかり学びたい人。北米、南米、欧州、中東、アジアなど数多くの派遣先があります。
- 海外短期語学研修 サマープログラム／スプリングプログラム：現地の大学に通いながら、語学を短期間で学びたい人。また、北大の外国語演習の単位として履修したい人。派遣先は、アメリカ、カナダ、ニュージーランド、スペインなどです。
- グローバル・キャリア・デザイン（ファースト・ステップ・プログラム（FSP））：海外への渡航経験はないけれど、留学や外国での就労に触れてみたい人。一般教育演習の単位として履修できます。
- 国際インターンシップ（IIP）：海外での就業体験を通して、自分のキャリアを考えたい人。2年次以上の学生が対象となります。

その他にも、各学部の部局間交流協定校への交換留学や海外ラーニング・サテライトなど、海外で学ぶためのプログラムがあります。また、大学外のプログラムを通して留学するという選択肢もあります。

学生交流ステーション（国際交流課）では、随時、留学の説明会などを行っています。興味がある方は、「北大生のための留学情報メール」に登録してみましょう。



## ❖ 学部・大学院での外国語学習・理系学部編

多くの理系学部で、研究室配属後は留学生と共に学ぶ機会があり、外国語を用いる機会があります。研究室のゼミが英語で行われることもあります。多くの理系学部で高い割合の学生が大学院に進学しますが、大学院での研究活動において外国語、特に英語を用いる機会が多くあります。国際学会での大学院生による発表が盛んに行われ、海外の大学院に留学する学生が多い学部もあります。理系学部からもサマー・インスティテュートに授業を提供し、各学部教員に加え海外から教員を招聘していますが、それらの授業を大学院生のみならず学部生も受講することができます。各学部での外国語を用いた専門分野の教育の特色を以下に挙げます。

### ▶ 理学部

- ＊一部の分野では科学英語講読などで英語による授業を開講しています。
- ＊学科によっては、海外留学による学修成果を評価し、積極的に海外留学を奨励しています。
- ＊理学部物理学科では、学生の卒業論文発表を英語で行っています。
- ＊理学院物性物理学専攻の修士課程では、修士論文の発表は英語で行います。
- ＊ISP（英語による理系学部修士一貫プログラム）の科目は全て英語で開講されています。

### ▶ 医学部医学科

- ＊2年次に「医学英語演習」を開講します。また、課外授業として「医学英語セミナー」を実施しています。
- ＊6年次には留学の機会があります。主にアジア圏の大学に北大医学部生を派遣し、北大にも海外から学生を受け入れています。
- ＊海外学会での大学院生による発表は年間数百件に上り、多くの学生が海外学会へ参加しています。
- ＊大学院共通授業科目として、英語による2科目（Basic Medical Biology I と Basic Clinical Medicine I）の授業を提供しています。
- ＊大学院博士課程のコースのうち二つに英語プログラムがあり、大学院博士課程必修の10単位を英語化しています。

### ▶ 医学部保健学科

- ＊2～4年次に「地域調査法」「国際保健学」等の英語関連科目を開講しています。
- ＊「国際保健学演習」は新渡戸カレッジの、あるいは協定校への短期留学・研修を単位化できる科目です。
- ＊卒業研究を英語文献レビューによって実施しているコースがあります。
- ＊英語の授業・ゼミなどを実施しています。

### ▶ 歯学部

- ＊「歯学英語Ⅰ」「歯学英語Ⅱ」（2年次）を必修科目として開講しています。
- ＊大学院では「Academic English」を開講しています。
- ＊韓国の全北大学や台湾の台北医学大学での学生研修を実施しています。
- ＊大学院における留学生数は増加傾向にあり、研究室によっては演習を英語で行うことがあります。

### ▶ 薬学部

- ＊「薬学英語Ⅰ」（2年次・必修科目）と「薬学英語Ⅱ」（3年次・必修科目）を開講しています。
- ＊研究室配属後大学院にかけ、研究遂行上問題のない程度まで英語の読解能力を高める機会があります。
- ＊学部学生も海外での学会に派遣しています。
- ＊薬学科及び大学院生を主な対象とした短期の交換留学プログラムがあります。

### ▶ 工学部

- ＊2～4年次に「科学英語演習」「科学技術英語演習」等の英語による授業が、複数のコースで提供されます。
- ＊環境社会工学科社会基盤学コース及び国土政策学コースでは、専門科目のうち英語による授業として開講しているものが比較的多くあります。
- ＊コミュニケーション、ディスカッション、ライティング等を学ぶことができる英語教育プログラム（単位付与なし）をCEED（工学系教育研究センター）が提供しています。
- ＊大学院生向けに科学論文の書き方、プレゼンテーションを学べる「実践科学技術英語」（工学院共通科目）を開講しています。
- ＊大学院では、英語による授業と研究指導が行われる「e3プログラム」が開設されています。

### ▶ 農学部

- ＊各研究室で発表、議論、文献講読を取り入れた演習を英語で行い、それを単位化する取り組みを行っています。
- ＊海外での活動を単位化している科目もあるので、外国語能力を発揮する機会があります。
- ＊農学院の授業の中には、英語で開講されている授業が多数あります。
- ＊農学院には英語特別コースがあり、多くの留学生を受け入れています。加えて、英語特別コース以外の留学生も諸外国から多数受け入れています。
- ＊複数の海外ラーニング・サテライト事業に採択されていますので、海外で英語を使用して学ぶ機会があります。
- ＊農学部生が多数進学している国際食資源学院は、英語で授業が実施される大学院プログラムです。

### ▶ 獣医学部

- ＊3年次後期から6年次にかけて、英語セミナーを開講しています。
- ＊海外研修プログラムとして、2～6年次にカセサート大学、チュラロンコン大学、エディンバラ大学、ザンビア大学、コロラド州立大学等に学生を派遣しています。
- ＊大学院の課程ではアカデミック・イングリッシュを必修科目として開講しています。
- ＊大学院の課程においては、獣医学院、国際感染症学院いずれもすべての授業を英語で実施しています。



## ❖ 学部・大学院での外国語学習・文系学部編

文系学部では学問分野によって事情は異なりますが、2年次以降、英語、そして英語以外の外国語を用いて専門分野を学ぶ機会があります。英語・外国語関連科目も各学部で提供され、英語・外国語を用いて行うゼミにも参加する機会があります。多くの文系学部ではサマー・インスティテュートに授業を提供し、各学部教員に加え海外から教員を招聘していますので、それらの授業を大学院生のみならず学部生も受講することができます。大学院生には国際学会での発表を行う機会も多くあります。各学部での外国語を用いた専門教育の特色を以下に挙げます。

### ▶ 文学部

- ＊2年次以降に履修できる「英会話・英作文」「英語学概論」等の英語・外国語関連科目（選択科目）を提供しています。
- ＊研究室により、英語あるいは他の外国語を用いた教育を取り入れています。
- ＊研究室を問わず英語論文を読んで議論することが広く行われています。
- ＊外国人の教員が担当する科目など英語または他の外国語で、あるいは日本語・英語や日本語・他の外国語の併用での授業を開講しています。

### ▶ 教育学部

- ＊教育学国際講義として英語で学ぶ授業を開講しています。
- ＊サマーインスティテュートでは海外からの教員を招聘し、講義およびディスカッションを行います。

### ▶ 水産学部

- ＊2年生を対象に、英語で発表を聞きグループ討論を行う英語授業を開講しています。
- ＊3年次には学科ごとに「水産科学英語Ⅰ」「水産科学英語Ⅱ」（必修）を開講しています。
- ＊4年次にラーニング・サテライトの海外研修プロジェクトに参加する機会があります。
- ＊大学院では「Introduction to Fisheries SciencesⅠ・Ⅱ」などの英語による授業を開講しています。
- ＊博士後期課程では英語論文の執筆、海外での英語による論文発表の機会があります。



- ＊協定大学で開催されるサマーセミナーへの参加に対し援助を行っています。
- ＊研究室により、英語を始めとする外国語論文を読んで議論することが行われます。また、海外からの研究者を招いた講演・研究会も行われ、学生・院生も参加して学ぶことができます。
- ＊大学院では、海外での学会に参加し研究発表を行う機会があります。

### ▶ 法学部

- ＊英語その他の外国語につき「専門外国語」（2年次・講読中心）と「外国語応用演習」（3年次以上・発信型の能力養成中心）を開講しています。
- ＊外国人・日本人教員による英語での授業（知財法や演習）を開講し、各種大会への出場を目指すチャンスがあります。
- ＊特に国際法や国際政治等の分野では英語を使って学ぶ機会が多くあります。
- ＊短期留学プログラムがあり、学生をバリ政治学院に派遣しています。
- ＊大学院で法学・政治学の研究を行う際、専門分野により英語以外の様々な外国語の能力を用いて学ぶ機会があります。

### ▶ 経済学部

- ＊経済学部を訪問した外国人講師・研究者による英語のセミナーを開催しています。
- ＊経済学研究院と学術交流協定を結んでいる大学とのジョイント・セミナーを定期的に開催しています。
- ＊大学院では、英語での論文執筆を指導する科目を提供しています。

## ❖ 外国語の学習に役立つWebサイト

### ● 北海道大学外国語教育センター

「北大生のための外国語学習情報ポータル」で情報提供します。  
お助けガイド電子版はこちら。

① URL : <https://www.imc.hokudai.ac.jp/lang/>

### 留学

### ● 北大生のための留学ガイド

② URL : [https://www.oia.hokudai.ac.jp/be\\_global/prospective-students/](https://www.oia.hokudai.ac.jp/be_global/prospective-students/)

### ● Nitobe College

(「新渡戸カレッジ」) (「留学支援英語」「短期語学研修」)

③ URL : <https://nitobe-college.academic.hokudai.ac.jp/>

### ● 北海道大学国際連携機構国際教育研究センター

(「短期留学プログラム」(HUSTEP)「国際交流科目」など)

④ URL : <https://www.oia.hokudai.ac.jp/cier/>

### 英語で学ぶ

### ● 現代日本学プログラム

(「英語演習」「国際交流科目」「現代日本学プログラム専門科目」)

⑤ URL : <https://www.oia.hokudai.ac.jp/mjsp/>

### ● Hokkaido サマー・インスティテュート

⑥ URL : <http://hokkaidosummerinstitute.oia.hokudai.ac.jp/>

①



②



③



④



⑤



⑥

